

東日本外壁仕上業協同組合(☎03-3374-3981)
近畿外壁仕上業協同組合(☎06-6533-0768)
福岡外壁仕上業協同組合(☎092-512-9141)

愛媛県仕上工事業協同組合(☎089-926-2067)
中国外壁仕上業協同組合(☎082-294-4878)

東日本外壁仕上業協同組合が外壁仕上一級技能者講習と試験を実施 東日本の合格者は27名。全国4地区で74名が合格

東日本外壁仕上業協同組合(池田稚夫理事長)は11月16日(日)に東京・大田区京浜島の会場(森商事(株)東京支店)で、登録基幹技能者講習の受講資格でもある、外壁仕上一級技能者の認定講習および試験及び更新講習を行った。その結果27名が合格証を手にした。

当日は、午前8時40分より小野沢昭専務理事によるガイダンスがあり、池田稚夫東日本外壁仕上業協同組合理事長が激励を込めて挨拶した後、9時より2時間にわたって実技試験が実施された。同試験は一定基準の出来栄に仕上げる作業で、池田稚夫氏(理事長・芦花建装(株))、野口陽一氏(副理事長・日幸化学工業(株))、高橋敦也氏(理事・(株)ワールド工業)らが立ち会った。このあと受験者は昼食を挟み12時30分より3.5時間にわたって講義を受けた。

同講義は野口陽一副理事長による「一般建築、建築用仕上塗材について」「一般建築、建築用仕上施工について」の2講義で、休憩後の4時30分より1時間にわたって「学科試験」が行われた。採点の結果、一級新規受講者15名、一級更新受講者11名、吹付管理士更新受講者1名の計27名が合格した。なお、既に8月に受講した14名を合わせると41名が合格したことになる。

一方、近畿外壁仕上業協同組合(岩田紳一理事長)は11月8日(土)午前8時30分より大阪府茨木市のエス



講習会の冒頭で挨拶する池田理事長



講義に熱の入る野口副理事長



講習会風景(講師は小野沢専務理事)

ケー化研(株)内の施設で同講習会と試験を行った。この結果、登録更新者4名、一級新規受講者9名の計13名が合格した。上記同様、既に7月に受講した14名を合わせると27名が合格した。また、愛媛県仕上工事業協同組合(義野寛幸理事長)は、11月23日(日)午前8時30分より松山市の松山共同高等職業訓練校において同講習会と試験を行った。この結果、

登録更新者11名、一級新規受講者6名、一級更新受講者3名、吹付管理士更新受講者2名の22名が合格した。既に8月に受講した20名を合わせると42名が合格したことになる。さらに福岡外壁仕上業協同組合(川口大介理事長)も11月29日(土)午前8時30分より福岡市博多区の(株)西井塗料産業福岡営業所内で同講習会を実施した。



大阪での実技試験のもよう



愛媛での講習風景

この結果、一級更新受講者11名が合格し、既に7月に受講した4名を合わせると15名が合格となった。

以上の結果全国4地区で74名が合格、一級更新者52名を合わせると126名が今回、登録基幹技能者受験資格者となった。

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設32業種41団体が整備されている制度。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられる。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と職長経験が必須となる。そのうえで、外壁仕上一級技能者合格者または国土交通大臣優秀施行顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となるため、今後、多くの受験者がチャレンジしてくるものと思われる。

小野澤専務理事によれば、「この資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であり、登録基幹技能者を目指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となるのではないかと。また、国土交通省も奨励している資格制度であり、建設現場での一定数の配置を義務づけるなど今後益々、重用される資格で今後は合格のハードルも上っ

ていくのが予想される。合格率の高い今が受験のチャンス」と話している。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点の加点が実施されている。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点されることとなる。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあると言える。日本外壁仕上協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業施工規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する団体として認定登録されており、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会を実施している。基幹技能者の資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要がある。池田理事長も「吹付・塗装・防水分野の仕事に携わっておられる方は、この登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる上級職長であり、今後、益々重要な役割を期待されてくる資格です」と組合員の受験と資格取得に期待を寄せている。

■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部/東京都/野口陽一:略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水リシン工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合事務局にお訊ね下さい。

- 日本外壁仕上業協同組合(理事長:池田 雅夫)
- 近畿外壁仕上業協同組合(理事長:岩田 紳一)
- 愛媛県仕上工事業協同組合(理事長:義野 寛幸)
- 福岡外壁仕上業協同組合(理事長:川口 大介)
- 中国外壁仕上業協同組合(理事長:稲本 和生)

■ 登録外壁仕上基幹技能者を育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体が整備された制度です。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の実態に応じた的確な施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資することのできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上一級技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であります。登録基幹技能者を指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点の加点を行うことを決定しています。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。

日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長等として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、
2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、
3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導、
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、
2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、
3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、
4. 塗装・吹付に携わる方。

■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年~20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が登録外壁仕上基幹技能者になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、2014年10月から24年3月まで完了となりました。